

事業所における自己評価結果 (公表)

公表: 令和6年3月22日

事業所名 縁キッズセンター南

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	2		公園や障がい者施設等利用し活動して、スペース確保に努めている
	②	職員の配置数は適切である	3	3		新規の職員募集を随時行い配置数が適切になるように努力している
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	3	3		事業所入り口には段差がある為職員を必ず配置して配慮を行う
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5	1		子どもたちの活動に合わせて、支援道具を細やかに提供し空間を使えるように努める
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	4	2		全体ミーティング及び日々の朝礼、終礼を通じて課題の確認や対応を行っている
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	1		アンケートに限らず、日々のご意見や要望からも可能な限り反映できるように努めている
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	0		ホームページにて公開している
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4	1		事業所評価表でいただいた課題を職員間で話し合い、改善してより良い支援を提供できるよう努めます
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	0	月1回程度、社内研修が行われている	外部の研修についても情報収集を行い研修の機会を増やしていきたい
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	5	0		児童に合った適切な計画が出来るように保護者様とも相談していく
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	2		標準化ツールは利用できていないので作成して活用していきたい
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	4	1		全職員がガイドラインを一読し基本活動に沿って支援出来るよう努めます

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	6	0		
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	1		今後全職員で相談しながら行っていく。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	0		活動のマンネリ化を防ぐために新しい情報や活動を取り入れ行っていく
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を 適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	5	0		児童に合わせて課題の提供を行っていく。個々人の課題に添った集団活動の テーマづくりを工夫していきたい
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、 その日行われる支援の内容や役割分担について 確認している	5	1	朝礼時に実施	事前に打ち合わせを行うが、当日のキャン セルなどの変更に対して予測や予定変 更の可能性を確認出来ていない場合があ るので、職員間で共有できるようにしてい る
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、 その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた 点等を共有している	5	0	終礼時に実施	毎日終礼を行い確認している。終礼に参 加できなかった職員などにも広く課題が共 有できるようにノート等活用している。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、 支援の検証・改善につなげている	5	1		記録を行うが改善につながっていない場 合もあるので、改善できるように検討する
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援 計画の見直しの必要性を判断している	5	0		収集した情報をもとに児発管が行ってい る。
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議 にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者 が参画している	3	2		会議が少ないため、あまり参加できていな い。開催された場合は参加できるように努 める。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や 関係機関と連携した支援を行っている	5	1		現在、関係機関との関りが少ないため関 係性が深められるように努める
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害 のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等 の関係機関と連携した支援を行っている	4	1		現在、医療ケアが必要な児童は利用して いない
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害 のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制 を整えている	4	1		現在、医療ケアが必要な児童は利用して いない
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚 園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支 援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5	1		今後必要に応じて情報提供を行い、移行 時にスムーズに移行できるように努める
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校 (小学部)との間で、支援内容等の情報共有 と相互理解を図っている	4	1		今後必要に応じて情報提供を行い、移行 時にスムーズに移行できるように努める
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事 業所、発達障害者支援センター等の専門機関 と連携し、助言や研修を受けている	4	1		児童発達支援センターとの関りは少ない ので、関係性が深められるように努める
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、 障害のない子どもと活動する機会がある	3	3		季節のイベントなどを通じて、交流が可能 な範囲で検討をしていきたい

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	29	(自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	2	3		地域自立支援協議会の参加ができていないため、関係性を深めていきたい
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	0		今後も保護者様と情報の共有を行い、より良い支援となるように努める
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	3	3		相談などは行っているが、トレーニング支援は出来ていない為、今後の課題としたい。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	0		現状も必要に応じて行っていますが、相談しやすい環境となるよう機会を設けるなど行っていきます
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6	0		面談の際に、支援内容や支援計画について、詳細に説明及び同意の確認を行っている。必要に応じて説明できるように努めていきます。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	0		現状も必要に応じて行っていますが、相談しやすい環境となるよう機会を設けるなど行っていきます
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4	1		可能な範囲で参加者が集まれるように日程を調整して行いたい。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6	0		苦情対応の体制を定期的に周知し、保護者様への対応を強化します
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	0	月間のお便りは毎月発行 公式LINEを利用したイベントの周知	今後も日頃の児童の様子がわかるような情報を発信していきます
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	6	0		研修等を行い、適切に取り扱えるよう定期的に職員教育を行います
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	0		絵カードや写真を使い情報伝達がより丁寧出来るように努めていきます
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	3		事業所へのご招待は実現していませんが、開かれた事業所となれるよう今後も努めます
	非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6	0	
42		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	0	年に2回以上避難訓練を行う様にしている。行う際は職員も注意	今後も定期的に行い非常時に適切な対応が出来るように準備していきます
43		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	4	1		面談の際にアセスメントを綿密に行い、児童の健康状態やその推移を把握できるように注意深く確認していきます。

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	1		現在、食物アレルギーのある児童の利用はないが、注意をして対応する
④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	0		事例をまとめて職員間共有を行う
④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	0	虐待防止研修を2か月に一回職員間で行っている	今後も継続して取り組み情報共有に努めます。
④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	5	0		契約時に行動制限に関する同意書を結んだ上で、個別支援計画に記載している

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。